

平成31年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年1月10日

上場会社名 株式会社 シーズメン
 コード番号 3083 URL <http://www.csmen.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三河 宏彰
 問合せ先責任者 (役職名) 経理情報システム課長 (氏名) 保住 光良

TEL 03-5623-3781

四半期報告書提出予定日 平成31年1月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第3四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第3四半期	3,616		86		97		119	
30年2月期第3四半期								

(注) 包括利益 31年2月期第3四半期 108百万円 (%) 30年2月期第3四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第3四半期	52.99	
30年2月期第3四半期		

(注) 平成31年2月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成30年2月期第3四半期の数値及び対前年四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年2月期第3四半期	5,028	1,340	26.5	465.99
30年2月期				

(参考) 自己資本 31年2月期第3四半期 1,333百万円 30年2月期 百万円

(注) 平成31年2月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成30年2月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期		0.00		0.00	0.00
31年2月期		0.00			
31年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,110		40		30		5		2.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成31年2月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前年増減率については記載しておりません。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1 社 (社名) 株式会社ピート、除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年2月期3Q	2,882,800 株	30年2月期	975,000 株
期末自己株式数	31年2月期3Q	6,036 株	30年2月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	31年2月期3Q	2,253,517 株	30年2月期3Q	913,536 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の継続的な改善や、雇用・所得環境の向上など、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、通商における国際的な摩擦や、国内での度重なる自然災害の発生などの影響により、景気の先行きは不透明な状況となっております。

アパレル販売業界におきましては、消費者の衣料品に対する節約志向が依然として強く、また、シェアリングサービスの利用の伸長など消費行動の多様化が進展し、経営環境は厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社は、業績の回復を必達の課題として「魅力ある店頭・VMDの実現」「CRMの強化」「MDの精緻化」「仕入先の戦略的な選択」「コスト削減の徹底」「過年度在庫の消化促進」「EC事業の拡大」の7つの項目を改善の大方針として掲げて、3月より取組みを進めております。

その結果、当第3四半期連結累計期間における当社の既存店売上高前年比は104.4%となり、業績は計画通りの進捗で推移しております。

特に、「魅力ある店頭・VMDの実現」は、第1四半期の早い段階から成果が現れ始め、当期の売上増に貢献しております。具体的には、MD部・店舗企画部が主体となって店舗の現場に入り込んで売場づくりを実践し、模範となるモデル店舗を設置し、全店舗に同様の売場づくりを行うよう指導を徹底しました。その後、全店舗から売場写真の提出を受けて、検証・修正を行う作業を積み重ねることにより、本部主導で確実に各店舗の売場を改善させてまいりました。

また、「MDの精緻化」として実施した商品戦略の見直しにおいては、主力商品を精査して選定したうえで、ロットを拡大した投入を行うことにより、売れ筋商品の在庫に厚みを持たせるとともに、シーズン商品の適切な販売期間における消化を促進して、滞留在庫を削減し、在庫内容の改善を進めました。

「EC事業の拡大」においては、自社サイト・ネットモールなど、販売チャネルごとに在庫管理を行っていたことによる非効率を改善するため、システムを導入して在庫管理の一元化を実施するとともに、EC事業への商品投入量も拡大して、事業の強化を進めてまいりました。

「仕入先の戦略的な選択」においては、当期よりグループ会社となった、株式会社ピート（以下「ピート」といいます。）との新たな取組みをスタートいたしました。

当社18店舗において、店舗内にコーナーを設けて、ピートのブランド商品を重点的に販売する取組みを、11月より進めております。また、ピートのブランドショップである「G-LAND」を当社の店舗として出店・運営するFC事業の取組みについても着手し、1店舗を出店いたしました。

店舗展開につきましては、当第3四半期連結累計期間における出店は1店舗、退店は2店舗で、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は「METHOD」23店舗、「流儀圧搾」16店舗、「METHOD COMFORT」1店舗（アウトレット店）、「AGIT POINT」1店舗、「G-LAND」1店舗の合計42店舗となりました。

当社グループの状況につきましては、ピートにおいて、当期の方針として「夏物在庫の適正化」「EC販売の強化」「新MD体制」「コストの見直し」をテーマとして掲げ、8月より取組みを進めております。

「夏物在庫の適正化」につきましては、前期より繰り越した夏物在庫の処分を進め、また、当期の仕入を抑制することにより在庫量を調整いたしました。その結果、夏物については売上を伸ばすことができず、当第3四半期連結累計期間における売上高は前年を割り込む結果となりましたが、次期夏物の展開に向けた準備を整えることができました。

また、秋物につきましては、10月から気温の低下に合わせて投入した高価格帯ブランドのパーカー類やゴルフブランドの商品群などの動向がよく、売上は堅調な推移となっております。

「EC販売の強化」につきましては、メルマガ発信数のアップ、グーグル検索履歴に応じて自社サイトが表示される広告を活用した新規顧客獲得、EC専用在庫を確保し欠品による機会ロスの低減、などの施策を実行いたしました。当第3四半期連結累計期間においては、EC事業全体の大幅な売上増には至っておりませんが、自社オフィシャルサイトの売上高に伸びが見られ、今後につながるものと考えております。

また、「新MD体制」につきましては、従来の責任者1名体制からブランド毎にMD責任者を配置した体制とすることにより、売れ筋商品の追加発注・フォロー納品迄の短縮化を図るなど適時・適確な商品デリバリーを徹底し、売上拡大に向けた商品供給体制を整備いたしました。

「コストの見直し」につきましては、各モールの契約更新時等にデベロッパーと交渉を行い、賃料引き下げの取組みを進めております。

店舗展開につきましては、当第3四半期連結累計期間における出店はなく、退店は1店舗で、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は44店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高36億16百万円、連結処理における、のれん償却費の計上も含めて営業損失は86百万円、経常損失は97百万円、親会社に帰属する四半期純損失は1億19百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における連結の業績に関しては、当初より営業損失を見込んでおります。平成30年7月11日公表の連結業績予想に織り込み済みであり、業績は計画通りの進捗で推移しております。

また、当第3四半期連結会計期間末における連結貸借対照表において、のれんとして計上されております5億37百万円につきましては、無形固定資産の評価が完了していないため、暫定的に算定された金額です。

なお、当社は、第2四半期連結会計期間におけるピートの子会社化に伴い、第2四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しております。また、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は50億28百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金10億27百万円、受取手形及び売掛金5億68百万円、商品14億26百万円、有形固定資産5億28百万円、無形固定資産6億4百万円、投資その他の資産7億91百万円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は36億87百万円となりました。主な内訳は、支払手形及び買掛金10億85百万円、短期借入金13億22百万円、未払金1億63百万円、未払費用1億4百万円、長期借入金2億22百万円、社債1億55百万円、資産除去債務3億5百万円等であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は13億40百万円となりました。主な内訳は、資本金7億88百万円、資本剰余金8億99百万円、利益剰余金△3億53百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年2月期の業績予想につきましては、平成30年7月11日付「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」で公表いたしました内容から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

当第3四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,027,939
受取手形及び売掛金	568,801
商品	1,426,006
前払費用	15,694
未収入金	39,602
その他	26,556
貸倒引当金	△3,399
流動資産合計	3,101,201
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	108,473
機械装置及び運搬具(純額)	165
工具、器具及び備品(純額)	51,320
土地	324,861
リース資産(純額)	41,758
建設仮勘定	1,916
有形固定資産合計	528,495
無形固定資産	
のれん	537,997
商標権	63,642
その他	2,660
無形固定資産合計	604,300
投資その他の資産	
投資有価証券	65,715
敷金及び保証金	724,860
長期前払費用	913
その他	50
投資その他の資産合計	791,539
固定資産合計	1,924,334
繰延資産	
社債発行費	2,598
繰延資産合計	2,598
資産合計	5,028,134

(単位:千円)

当第3四半期連結会計期間
(平成30年11月30日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	1,085,368
短期借入金	1,322,338
1年内償還予定の社債	90,000
1年内返済予定の長期借入金	59,250
リース債務	38,451
未払金	163,987
未払費用	104,267
未払法人税等	28,861
未払消費税等	155
賞与引当金	30,496
資産除去債務	2,406
預り金	8,670
その他	5,917
流動負債合計	2,940,171
固定負債	
社債	65,000
長期借入金	163,164
リース債務	73,548
役員退職慰労引当金	2,083
退職給付に係る負債	72,900
資産除去債務	302,710
繰延税金負債	68,007
固定負債合計	747,413
負債合計	3,687,585
純資産の部	
株主資本	
資本金	788,148
資本剰余金	899,296
利益剰余金	△353,308
自己株式	△11,711
株主資本合計	1,322,424
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	10,851
その他の包括利益累計額合計	10,851
新株予約権	7,273
純資産合計	1,340,549
負債純資産合計	5,028,134

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)
売上高	3,616,694
売上原価	1,796,527
売上総利益	1,820,167
販売費及び一般管理費	1,906,195
営業損失(△)	△86,028
営業外収益	
受取利息	16
受取配当金	307
受取賃貸料	2,441
その他	634
営業外収益合計	3,399
営業外費用	
支払利息	12,948
社債発行費償却	1,932
その他	209
営業外費用合計	15,091
経常損失(△)	△97,720
特別利益	
投資有価証券売却益	7,772
特別利益合計	7,772
特別損失	
固定資産除却損	143
減損損失	5,708
特別損失合計	5,852
税金等調整前四半期純損失(△)	△95,800
法人税、住民税及び事業税	23,631
法人税等調整額	△14
法人税等合計	23,617
四半期純損失(△)	△119,417
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△119,417

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)
四半期純損失(△)	△119,417
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	10,851
その他の包括利益合計	10,851
四半期包括利益	△108,566
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△108,566
非支配株主に係る包括利益	-

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年2月23日開催の取締役会において決議しました、第三者割当による新株式の発行につきまして、平成30年3月12日に払込みを受けております。また、平成30年8月15日開催の取締役会において決議しました、第三者割当による新株式の発行につきまして、平成30年8月31日に払込みを受けております。この結果、当第3四半期連結累計会計期間において資本金が543,148千円、資本剰余金が543,148千円増加し、資本金が788,148千円、資本剰余金が899,296千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成30年3月1日至平成30年11月30日)

当社は、衣料品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。